

＜学内限定ワークショップ＞

《研究成果を世界へ配信： なぜ、どうやって、そして誰が》

日時： 12月1日(火) 13:30～15:00

場所： 椎木講堂 1F 大会議室

対象者：研究成果の発信について
興味がある方(教員、職員、学生)

定員： 80名



講師： Kornhauser David Hajime

今羽右左 デイヴィッド 甫 氏
京都大学 企画・情報部
広報課 国際広報室 室長

今羽右左氏は、国際関係学で修士取得後、政策アナリスト、日本のテレビ局ニュースプロデューサー、外交官などを経て、京大にてWPI-iCeMS国際広報担当となる。現在、新設された国際広報室長として幅広い広報関連のコンサルティングに活躍中！

＊一つでも関心があれば

ぜひご参加ください！

- ◆ 効果的なパンフレットやチラシを作りたい。
- ◆ 魅力的なプレスリリースをしたい。
- ◆ 研究成果を世界へ幅広くアピールしたい。
- ◆ 高校生などに研究成果をわかりやすく伝えたい。

言語： 日本語

目的： 大学の研究成果を迅速にわかりやすく学外へ発信する必要性・重要性を認識し、その方法を習得する。

内容： 広報の意味、研究成果の迅速な発信の意義、サイエンスコミュニケーションの重要性、広報とレピュテーションの関連性について講演後、効果的な研究成果発信について議論を行う。

＜お問い合わせ・申し込み＞

SHAREオフィス 清水

内線：伊都90-2206

Email: share-event@jimukyushu-u.ac.jp

